

令和6年度事業報告書

令和6年 1月 1日から 令和6年 12月 31日まで

一般社団法人日本カーシェアリング協会

1. テーマと重点項目（1年間を通して特に意識的に取り組んだこと）

<令和6年度のテーマ>

仕組み化

～業務を見直し、大切なことを逃さず、ノウハウを積み上げる体系化した体制を作ろう～

<重点項目>

- ・能登半島地震支援活動でできる限りのことを行う
- ・支部を軌道に乗せる
- ・安全管理基準の作成とノウハウの積み上げ

2. 事業報告

成果

- ・活用車両台数…………… 707台（前年比 162% +272台）
- ・新規車両寄付台数…………… 860台（前年比 236% +497台）
 - ▷活用 487台（前年比 159% +182台）
 - ▷リサイクル 373台（前年比 643% +315台）
- ・貸出拠点数…………… 5拠点（石巻本部・佐賀支部・栃木支部・静岡支部・秋田支部）（前年比 125%増+1拠点）
- ・災害拠点数…………… 14拠点（石川県 9拠点、山形県酒田市、戸沢村、宮崎県宮崎市、延岡市、秋田県由利本荘市）（前年比 140% +5拠点）
- ・総貸出件数…………… 5,868件（前年比 449%増 +4,560件）

事業	受益者数	内訳
コミュニティ・サポート事業部	30地域（1,359名） 前年比 地域数 +3地域 111% 会員数 +117名 108% ※テスト運行含む	移動に課題のある地域・コミュニティ形成及び活性化等に貢献 ▷新規導入サポート…………… 6地域（205名） （内訳）設立…………… 4地域（157名） （内訳）テスト運行実施…………… 2地域（48名） ▷既存導入地域サポート…………… 24地域（1,154名） （内訳）石巻市内…………… 11地域（638名） （内訳）石巻市外…………… 13地域（516名）

事業	受益者数	内訳
ソーシャル・カーサポート事業部	リース:延べ 248 個人・団体 前年比 +92 件 159% レンタカー:延べ 446 件 前年比 -60 件 88%	生活困窮者支援、NPO・移住者支援、災害の備え、震災伝承などに貢献 ▷NPO や NPO の職員の支援…………… 79 件 ▷移住者、地域おこし協力隊の支援…………… 18 件 ▷災害の備え構築(災害時返却カーリース)……… 62 件 ▷被災者の継続支援(災害時特別カーリース)… 20 件 ▷生活困窮要支援者支援(生活お助けリース)… 45 件 ▷その他リース…………… 24 件 ▷レンタカー…………… 446 件 (うち震災伝承施設巡りレンタカー利用 10 件)
モビリティ・レジリエンス事業部	対応した自然災害:5 件 前年比 ±0 件 貸出件数:5,172 件 前年比 +4,528 件 803% ピーク時活用台数:436 台 前年比 +158 台 157%	令和 6 年 1 月能登半島地震(石川) (地震・豪雨合計) 9 月能登半島豪雨(石川)…………… 4,936 件 令和 6 年 7 月秋田山形大雨(秋田・山形)……… 193 件 令和 6 年 9 月台風 10 号支援(宮崎)…………… 18 件 令和 6 年 10 月宮崎大雨(宮崎)…………… 25 件 災害時の連携協定…………… 66 件

【1】コミュニティ・サポート事業

【目標 1】石巻市内のコミュニティ・カーシェアリングの持続可能な体制の仕組みづくり

- ・達成指標 1) 好事例を共有する仕組みをつくる
- ・達成指標 2) 持続化進捗表 新規 60 個達成
- ・達成指標 3) 新規担い手を確保する仕組みを 10 事例つくる

評価

- ・達成指標 1) 石巻市内 10 地域で5つの好事例の共有がなされた【達成率:100%】
- ・達成指標 2) 持続化進捗表 31 項目達成【達成率:51%】
- ・達成指標 3) 新規担い手を確保する仕組みを 10 事例つくることのできた【達成率:100%】

実施内容

- ・活動に役立つ好事例をカーシェア会同士で共有できるように、各地域の会合や、研修会で事例を共有するサポートを実施。好事例が共有されることで、地域内で課題解決のする力が育まれた。また様々なアイデアが生まれるきっかけにもなり、課題解決に向けた新しい動きや世話人会での意見交換がよりなされるようになった。
- ・高齢化により、利用者は増えるものの役割の担い手が不足している地域が多い。新しい担い手を確保するために担い手募集のチラシ配布を定期的実施する仕組みをつくることのできた。チラシ以外の担い手発掘の方法として、行政配布の機会を活用するため、町内会へカーシェア会の紹介と担い手探しの協力を相談する場のセッティングサポートをした。チラシ配布の成果としてボランティアドライバーが 2 名、担い手候補者を 2 名発掘することができた。
- ・持続化進捗では総会の自律化が進み、進捗のあった 31 項目のうち、6 項目で進捗があった。

総評

概ね達成することができた。石巻市内のカーシェア会を持続可能な体制へより発展させるため、担い手の確保や、課題の解決方法を共有する仕組みを定着させることができた。仕組化することにより、課題解決のスキルが向上し、カーシェア会自身で活動を継続させるための行動が活性化されたと思う。持続化進捗については掲げていた目標値の半分となったが、現在のカーシェア会の自律に向けたサポートを行うべき指標と相違が生じていたため、進捗を計る指標の見直しを行い、次年度は新たな指標でさらなる自律化に向けて取り組む予定である。

課題

- ・1 年を通して定着した仕組みが今後もしっかり継続されているか確認が必要。
- ・財源管理を協会が担っているケースが多いので地域に移行させることが必要。

【目標2】石巻市外コミュニティカーシェアリングのフォロー体制の基礎づくり

- ・達成指標1) 更新対応を実施する
- ・達成指標2) 市外カーシェア会の情報を把握するツールの作成
- ・達成指標3) 石巻市外バージョンの持続化進捗表の作成
- ・達成指標4) 道路運送法改訂への対応と情報の共有

評価

- ・達成指標1) 更新対応を7地域実施した【達成率:100%】
- ・達成指標2) 情報把握を行うツールを作成し、2/3工程まで完了した【達成率:67%】
- ・達成指標3) 持続化進捗表の素案の作成をすることができた【達成率:33%】
- ・達成指標4) 東北運輸局への確認と現状の共有を実施した【達成率:67%】

実施内容

- ・リース契約の更新対応を3地域、新規契約を4実施。
- ・市外カーシェア会の情報を把握するツールのシートを作成し、入力する情報を整理した。
- ・石巻市内で活用している持続化進捗をベースに、市外カーシェア会用の持続化進捗を作成し、進捗の指標も市外のカーシェア会に合わせた指標へ変更を進めた。
- ・東北運輸局を訪問し、法改定内容の確認を実施。

総評

市外のカーシェア会をフォローする体制の基礎づくりを進めることができた。リース契約の更新や、新規で設立されたカーシェア会のリース契約など、未経験のサポート業務に着手した。情報把握をするツールの作成については、入力シートは完成したが、入力するカーシェア会の情報を年度内では全て集めることが出来なかった。次年度の計画で活用できるように進める。道路運送改定については、東北運輸局の回答をもとに現段階で発信できる情報を共有することにとどめた。改定された内容からカーシェア会の活動の活性化につながる情報の整理とさらなる調整を進めていく。

課題

- ・市外、県外カーシェア会の活動状況を把握するために、ヒアリングの機会を設ける必要がある。
- ・更新対応をマニュアル化し、更新対応をスムーズに進める。
- ・持続化進捗の指標を整理して、そのうえでサポートをどう進めるか決める必要がある。

【目標3】CCS新規導入が広がる仕組みづくり

- ・達成指標1) 事例紹介の対応と発信 15件/視察対応と発信 10件/提案 12自治体
- ・達成指標2) CCS普及促進に関する協定締結 2自治体
- ・達成指標3) 導入率の向上のために視察後3回のフォロー実施、事例紹介後アンケートの徹底
- ・達成指標4) 視察・導入マニュアル完成
- ・達成指標5) 新規導入サポート5件受注

評価

- ・達成指標1) 事例紹介 10件/15件実施 視察対応 4件/10件実施 提案 19件/12件【達成率:70%】
- ・達成指標2) 栃木県と協定を締結した(1件/2件)【達成率:50%】
- ・達成指標3) 事例紹介後のアンケートを全て打診したが、視察のフォローは該当する案件が少なく取り組むことができなかった【達成率:50%】
- ・達成指標4) 視察マニュアル、導入マニュアルが完成した【達成率:100%】
- ・達成指標5) 南陽市、能登町、一関市の3地域に新規導入・設立をすることができた。テスト導入は豊田市堤地区、平山・平和町自治体の2地域で開始した。また前年からテスト導入を行っていた豊田市水源地区では会を設立した。6件/5件【達成率120%】

実施内容

- ・10件の事例紹介の対応と発信を実施

一関市猿沢(2/1)	伊達郡川俣町(2/25)	豊田市堤町(3/1)
豊田市シンポジウム(9/26)	七尾市(10/2)	能登町藤波地区(10/3)

輪島市門前町(10/5)	佐倉市(10/15)	富士市(10/16)
富士市広見地区(10/16)		

・4 地域・団体より視察受入れを実施。

ウィルサポート(5/28)	一関市猿沢(7/1)	能登町役場(7/15)
一橋大学 学生(8/29)		

・19 の自治体へ CCS の提案を実施

栃木県(2/7、10/18)	栃木市(2/7)	富士市(2/19、10/16)	富士宮市(2/20)
秋田県(4/15)	秋田市(4/15)	愛知県(6/22)	熱海市(6/19)
能登町(6/21)	福井県(7/21)	七尾市(7/25)	姫路市(7/26)
珠洲市(8/21)	下田市(10/17)	一関市(10/22)	松崎町(12/17)
西伊豆町(12/17)	静岡県(12/17)		

総 評

豊田で自治体連携の好事例ができたことで、自治体へ積極的に提案することで広がりをつくることができ、目標としていた新規導入数も達成することができた。CCS スタッフメンバーが県外 CCS 導入と研修と更新手続きを一通り経験できスキルを身につけ、関連するマニュアルに取組めたことで今後の県外対応を広げていく基礎も築くことができた。

課 題

- ・視察がより受注するためにプログラムやホームページの更新が必要
- ・事例紹介、自治体提案、県外への導入などの対応人材が必要

【目標 4】 チームの生産性が向上する仕組みづくり

- ・達成指標 1) 福祉と移動に関する研修の毎年受講をスタートさせる
- ・達成指標 2) 年間スケジュールの更新と実行
- ・達成指標 3) 写真整理、フォルダのルールを運用する
- ・達成指標 4) ミーティングのルールづくり・定期化・振り返りの実施
- ・達成指標 5) 対応の成功事例・失敗事例の記録

評 価

- ・達成指標 1) 研修を 2 件/2 件受講した【達成率:100%】
- ・達成指標 2) 年間スケジュールを作成し実行できた【達成率:100%】
- ・達成指標 3) ルール作りを行い、実行できた【達成率:100%】
- ・達成指標 4) WEEKLY ミーティング、定例ミーティングを導入し実行できた【達成率:100%】
- ・達成指標 5) 事例の蓄積を行いお互いに学び合う機会とした【達成率:100%】

実施内容

- ・研修の受講
 - ▷生活支援コーディネーターオンライン研修受講(全 6 工程)
 - ▷住民主体による地域づくりへの支援コーディネート力を高める研修受講

総 評

地域住民との関わり方や協働の在り方に関わる研修を受講した。対人支援の基礎知識を身につけることで地域住民のサポートに活かすことができた。業務上でのルールや、ミーティングなどを仕組化することにより、業務効率を上げることができた。

課 題

- ・保存フォルダのルールが守られているか定期的なチェックが必要
- ・年間スケジュールをより事業部目標を意識したもので作成、実行していく

【その他にあった取り組み】

- (1) コミュニティ・カーシェアリング導入、運営サポート事業
 - ・運営サポート:30 地域 (既存サポート 24 地域 + 新規 4 地域 + テスト運行中 2 地域)

※下線が令和6年に設立総会を行ったカーシェア会

宮城県	吉野町カーシェア会、あゆみ野カーシェア会、門脇カーシェア会、中央カーシェア会、渡波カーシェア会、三ツ股カーシェア会、大門町カーシェア会、のぞみ野カーシェア会、山下南カーシェア会、貞山運河カーシェア会、荻浜地区カーシェア会(休会中) 林際カーシェア会、松の実フレンド
岩手県	上浜田アッシーくん、田代カーシェア会、猿沢カーシェア会
山形県	カーシェアリング南陽市助け合いの会
石川県	うかわカーシェア会
静岡県	杉田3,4区街づくり協議会
愛知県	水源カーシェアさくら会
滋賀県	葛川いきいきサークル
京都府	竹野活性化委員会カーシェアリング部会
岡山県	助け英田しちやろう会、小鳥の森カーシェア会、
鳥取県	おがもカーシェアリング倶楽部、永江ささえ愛カーシェア倶楽部、上北条ふれあい車会、まちづくり大山

(2) 地域向け研修会の実施

大おちゃっこ会(8/28) 安全運転講習会(10/17)

(3) スタッフ向け研修、地域会合への参加

- ・コミュニティ支援に係る情報交換会(2/1)
- ・生活支援コーディネーター養成オンライン研修 全6講座(5/16、5/26、6/6、6/17、6/30、7/11)
- ・住民主体による地域づくりへの支援コーディネート力を高める研修受講
- ・生活支援コーディネーター情報交換の場(12/11)

(4) 石巻市 SDGs モデル事業(グリーンスローモビリティの活用した協働による新たな移動手段の構成事業)

- ・グリーンスローモビリティ既導入グループへの運営サポート 2地域

委 託	地域課題サポート(コミュニティ・カーシェアリング)事業(石巻市)／自治体 SDGs モデル事業グリーンスローモビリティ等運用支援業務(石巻市)／豊田市コミュニティ・カーシェアリング導入支援業務(豊田市)／コミュニティ・カーシェアリング導入支援事業業務(南陽市)／
助 成 金	—
補 助 金	地域おこし協力隊(石巻市)／宮城県 NPO 等による心の復興支援事業補助金

※他、石巻市内のカーシェア会において地域互助活動推進事業助成金などを活用

【2】ソーシャル・カーサポート事業・損害保険代理店業務

【目標1】 寄付車貸出事業の推進

- ・達成指標1) カーリース:延べ貸出件数 307 件(解約済み件数も含む)
 - ▷ NPO カーリース:80 件(既存契約 48 件／新規契約 32 件)
 - ▷ 災害時返却カーリース:総契約件数目標:100 件(既存契約 34 件／新規契約 66 件)
 - ▷ 生活お助けカーリースの契約件数目標:34 件(既存契約 14 件／新規契約 20 件)
 - ▷ 移住カーリース 契約件数目標:31 件(既存契約 11 件／新規契約 20 件)
 - ▷ その他のカーリース:62 件(既存契約 37 件／新規契約 25 件)
- ・達成指標2) レンタカー貸出し件数:600 件

評価

- ・達成指標1) カーリース:延べ貸出件数 248 件/307 件
(新規契約 113 件含む、年度末時点契約数 178 件)【達成率 81%】
 - ▷ NPO カーリース件数目標:79/80 件【達成率 99%】
 - ▷ 災害時返却カーリース件数目標:62/100 件(新規契約 25 件、年度末時点 46 件)【達成率 62%】
 - ▷ 生活お助けカーリース件数目標:45/34 件(新規契約 30 件、年度末時点 31 件)【達成率 140%】
 - ▷ 移住カーリース件数目標:18/31 件【達成率 58%】
 - ▷ その他のカーリース件数目標:44/62 件【達成率 71%】
- ・達成指標2) レンタカー:貸出し件数 446 件/600 件【74%】

実施内容

- ・カーリース、レンタカーの相談、貸出し、入金管理、返却対応を実施した
- ・行政の各部署(市民協働、移住定住、生活困窮、防災)に対応するリースの説明とチラシ配布、情報周知の依頼を実施。佐賀県では嬉野市にて市町村として初めて導入につながった
- ・社会福祉協議会への車の備えの必要性を訴求する活動を実施
- ・九州支部では困窮者支援・若者支援を行う団体・企業と6者協定を締結した

総評

NPO、移住者(地域おこし協力隊)は web 検索経由での問合せが増加しており、ターゲットを絞ったプラン展開が良い結果につながっている。また、各支部の自立支援窓口への案内を行い、事例が進んでいった。行政への展開を意識的に行い、佐賀県嬉野市で災害時返却カーリースが導入された。2025 年には複数自治体でカーリースの採用が決まっており、好事例を作ることができた。一方で災害時返却カーリースについては目標に対して大きく下回ってしまっており、能登の経験を踏まえて車の備えの訴求をしながら、利用者増につなげる必要がある。

課題

2025 年は能登半島支援で活用した車両が数 100 台規模で各支部に戻ってくるため、その活用先が速やかに見つかるように、周知活動を徹底する。本部、支部ともに広報・周知に関わる活動への取組時間を十分に取れていないため、体制強化が急務である。生活お助けカーリースの利用が増えているため、その事業を支える助成金や寄付金の獲得の動きが必要とされている。

【目標 2】支部活動の活性化

- ・達成指標1) 設立後 1 年以上の支部は新規の案件相談が支部で完結できている
- ・達成指標2) 各支部 1 回以上、平時の活動で報道に取り上げられる
- ・達成指標3) 各支部新規リース契約件数 20 件/年
- ・達成指標4) カーリースに関する支部のスキル一覧を作成し 3 カ月に 1 回進捗を確認し、成功・失敗事例の共有ミーティング が実施されている

評価

- ・達成指標1) 九州支部:全プラン可能、静岡支部:一部プラン可能、栃木支部:不可【達成率 50%】
- ・達成指標2) 各支部にて災害支援及び平時の取組でメディア掲載の実績をあげた【達成率 100%】
- ・達成指標3) 九州支部:20 件/栃木支部:8 件/静岡支部:8 件/秋田支部:8 件
計 44 件/80 件【達成率 55%】
- ・達成指標4) スキル一覧の定期的な見直しの実施ができなかったが、成功・失敗事例の共有ミーティング

の中で事例共有を行う体制とした【達成率 50%】

実施内容

- ・支部の認知拡大のために本部スタッフとの連携のもと、カーリース普及のための取組を実施した
- ・本部から共有されるプレスリリースの発信と個々の取材対応を実施した
- ・支部スタッフのスキルアップ、孤独感の軽減を目的にして週次のミーティングを開催した

総 評

メディア対応の実施など認知拡大のための活動を着実に実施することができた。栃木県、静岡県ではロータリークラブでの講演を行い、活動の必要性を地域で認知させていただくことができた。一方でスタッフのスキルアップやリース普及の観点では課題の残る1年であった。

課 題

- ・少人数の運営体制の中で、効率のよい運営をするための改善
- ・スタッフ採用やボランティア協力網の拡大により体制強化

【目標3】カーリースの広報活動の仕組み化

- ・達成指標1) 拠点(本部・支部)でのリース広報の成功事例に基づいた広報雛形が作成されている
- ・達成指標2) リースで活用されている車両の写真を年に一度収集する
- ・達成指標3) リース可能な車両の情報をリース希望者がリアルタイムで確認できるようにする
- ・達成指標4) 利用者アンケートを実施してサービス内容の見直しを行う。

評 価

- ・達成指標1) 広報雛形は完成せず。事例共有を週次のミーティング内で実施。【達成率 50%】
- ・達成指標2) 支部での納車時に写真撮影をするルールを徹底。書面のみの手続の場合は送り状に写真データの送付を依頼するようにした【達成率 50%】
- ・達成指標3) kintoneの有償プラグインを利用することが決定。開示のための準備が未了【達成率 50%】
- ・達成指標4) 利用者アンケートを実施。プランの見直しは2025年度で実施する【達成率 50%】

実施内容

- ・週次のミーティングを実施することで、各支部の事例共有とフォローを実施した。
- ・これまで収集できていなかった支部でルールを設定し、納車時の写真撮影、格納を行うようにした
- ・利用者へのアンケート配布と回収を実施。(回答数 50)
- ・Kviewer(kintoneのプラグイン)の導入を進め、オンラインでリース候補車両の開示ができる環境整備を進めた。(実際の運用は2025年度より実施)

総 評

アンケートを通じて、周知に必要な先は満足度(「とても満足」、「満足」の合計の割合)が94%で、NPO、、移住者(地域おこし協力隊)、生活困窮者等の車ニーズに応えられていることが分かった。満足、不満足のポイント、認知のきっかけを把握でき、次年度以降の周知やプラン改善の参考となるデータを収集することができた。車両開示の方法など工数削減につながる取組みも進んだため、次年度以降は広報・渉外の活動がより進んでいくものと思われる。

課 題

アプローチ先のリストをつくるも、災害対応や日々の車両点検等で広報活動に回る時間の確保ができていないことが大きな課題である。

—	売上	総利用件数*	新規利用件数	解約件数
カーリース	27,573,354 円	248 件 (178 件)	114 件	70 件
—	売上	貸出件数	震災伝承施設巡り	—
レンタカー	8,630,020 円	446 件	10 件	—

*総契約件数は期中で解約された利用分も含む件数。()の数値は 12 月末時点での利用件数

【その他にあった取り組み】

(1) 損害保険代理店業

損害保険商品の手続きを適切に実施した。

(2) 業務効率化のため、ChatGPT を活用したリースに関する質問回答の AI を作成し、運用を開始した。

委 託	なし
助 成 金	静岡トヨタ自動車 ハイブリッド基金(ふじのくに未来財団) 社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト(社会福祉法人宮城県中央共同募金会)
補 助 金	佐賀市生活困窮者自立支援機能強化事業補助金
寄 付	佐賀ふるさと納税

【3】モビリティ・レジリエンス事業

【目標 1】モビリティ・レジリエンス・アライアンスを拡大し連携を強化する仕組みをつくる

- ・達成指標 1) 国・業界団体・メーカーから 3 つ以上の新たな参画を得る
- ・達成指標 2) MRA の交流・情報共有強化(メンバーミーティングの開催とメンバー追加配信の開始)
- ・達成指標 3) 災害サポートレンタカーパートナーの提案と定着(10 企業の参画)
- ・達成指標 4) 新規 15 団体(企業 10、自治体 5)の企業・自治体と協定締結

評 価

- ・達成指標 1) 自販連、JAMA、JALA、内閣府、警察庁、国土交通省の 6 組織から参画を得ることができた

【達成率: 100%】

- ・達成指標 2) オンラインでの活動報告の実施とメールの配信の定着 【達成率: 100%】
- ・達成指標 3) 災害サポートレンタカーパートナーを提案し 14 件から申込があった 【達成: 100%】
- ・達成指標 4) 新たに 10 企業・団体と、5 自治体と締結をした 【達成: 100%】

実施内容

- ・能登半島支援において、自動車販売店業界の団体である日本自動車販売協会連合会(略称: 自販連)、自動車メーカー業界の団体である日本自動車工業会(略称: JAMA)、自動車リース会社業界の団体である日本自動車リース協会連合会(略称: JALA)など、これまで連携のなかった業界団体から車の寄付や貸与をいただいた。
- ・国土交通省、内閣府、警察庁といった国の機関の協力を得て活動を行うことができた。
- ・MRA 加盟企業・団体を対象とした、災害支援活動報告会をオンラインで実施した。(5/16)
- ・MRA に新たな企業・団体の参画があった際、既存加盟企業・団体に対し、新規加盟団体追加の報告を実施した。
- ・特定の災害支援活動に対し資金的なサポートを行う「災害サポートレンタカーパートナー」制度を開始。企業・団体に向けて紹介し、14 の企業・団体からの参画を得た。
- ・新たに 15 企業・団体の加盟があった。また、4 自治体(3 県 1 市)と災害時の連携協定を締結した。

▷ 災害時の連携協定締結 ※下線が令和6年新規締結

企業 ・団体	47 企業・団体（新規 15 団体） アドバンスクラブ、(株)エーモン、(株)オートボックスセブン、JU 宮城、JU 熊本、 日本ミシュランタイヤ(株)、ルート産業(株)、JU 岩手、JU 宮崎、JU 新潟、JU 静岡、JU 兵庫、 JU 青森、JU 秋田、全日本ロータス同友会宮城県支部、(株)ハンコックタイヤジャパン、 JU 岐阜、JU 長野、中央精機(株)・中央精機東北(株)、(株)ウェッズ、JU 東京、 (株)カーセブン デジフィールド、(一社)日本自動車連盟、JU 長崎、JU 埼玉、JU 愛媛 JU 奈良、JU 京都、JU 富山、JU 大阪、JU 広島、JU 三重、JU 栃木、 <u>自販連愛知県支部、</u> <u>JU 北海道、JU 徳島、JU 高知、JU 神奈川、JU 福井、JU 愛知、自販連石川県支部、</u> <u>(株)ソフト 99 コーポレーション、(株)ソフト 99 オートサービス、アイオン(株)、</u> <u>スーパー乗るだけセット(西自動車商会)、他 1 社</u>
自治体	19 自治体（新規 4 自治体） 石巻市、岡山県、熊本県、佐賀県、宮城県、岩手県、福島県、栃木市、人吉市、栃木県、 新潟県、豊田市、青森県、富山県、延岡市、 <u>福岡県、愛知県、秋田県、姫路市</u>

総 評

能登半島地震・豪雨支援というかつてない規模の支援を行う中で、これまで関わりがなかった業界団体や行政機関などからの支援や連携が実現した。MRA 加盟企業・団体に対しては、活動報告会の実施や新規加入の報告、発信の回数を増やすなど、協会の活動が見えやすくなるよう注力した。また、「災害サポートレンタカーパートナー」制度を開始し、災害支援活動に対しての金銭的な支援参画の仕組みを整えた。

課 題

・MRA 加盟企業・団体の中でも連携度合いに差があるため、各社ごとに効果的なアプローチが必要。

【目標 2】 より大規模の災害へ対応できる仕組みをつくる

- ・達成指標 1) スタッフの募集強化(新媒体で発信・10 名応募・3 名確保)
- ・達成指標 2) 人材バンク活性化(10 協定締結自治体と連携募集・申込者への月 1 フォロー・応援制度開始・30 都道府県 150 名登録・石巻レギュラー人材 2 名確保)
- ・達成指標 3) 拠点用資料の作成と活用(マニュアル・研修動画・委託団体向け説明資料)
- ・達成指標 4) システムの完成と運用開始
- ・達成指標 5) 災害対応中に得た教訓を集め・整理し・活かす仕組みを作る(月 1 ミーティング・マニュアル更新)

評 価

- ・達成指標 1) 新規媒体 (Indeed plus、Air Work) の活用開始／応募 65 名／採用は 0 名 【達成率: 66%】
- ・達成指標 2) 28 都道府県／114 名登録 【達成率 70%】
- ・達成指標 3) 資料の作成と運用開始ができた 【達成率: 100%】
- ・達成指標 4) 新しいシステムの運用開始 【達成率: 100%】
- ・達成指標 5) 振り返りの場とマニュアルの更新を実施した 【達成率: 100%】

実施内容

- ・求人募集を Airwork で行い、応募者数の増加につながった。
- ・人材バンクの活性化と登録者数を増やすため、協定締結自治体にチラシ設置や広報誌への掲載を依頼実施、プレスリリースの発信、架け橋ドライバーへの案内など実施した。また、登録者に対し短期バイト

として活動参加を呼びかけ、2名が約1ヶ月程度七尾拠点での活動に参加した。

- ・kintoneの災害管理アプリの改善を行った。また現場対応用の動画マニュアルを作成し、より理解しやすいようにした。
- ・災害支援の対応について、毎月振り返りの場を設け、そこで出た意見を整理してマニュアルのアップデートや規約の修正等を行い今後の支援に生かせるようにした。

総 評

人材バンク登録者について、目標の登録者数には達しなかったが様々な施策の結果、28都県、114名に登録者が増加。また、災害支援時に得た教訓や毎月の振り返りで整理し、今後の活動に生かせるように仕組化することができた。

課 題

- ・人手が不足しているため、次年度も引き続きは人材の拡充に努めたい。
- ・人材バンクの登録者がゼロの道府県があり発災時に協力者探しに時間を要し、迅速な対応ができない可能性が高まってしまう。

【目標3】 支部の設置と財源確保の仕組みをつくる

- ・達成指標1) 3つの支部設置（候補）秋田市、福岡市、岡山市、七尾市、茂原市
- ・達成指標2) 3つの新規支部候補地を確保する
- ・達成指標3) 新規支部設置の財源確保の仕組みを作る

評 価

- ・達成指標1) 秋田市に支部を設置できた 1箇所/3箇所【達成率:33%】
- ・達成指標2) 七尾市で支部設置の調整が進んでいる 1箇所/3箇所【達成率:33%】
- ・達成指標3) 財源確保の相談は行なったものの確保にまでは至っていない【達成率:0%】

実施内容

- ・5/15 秋田市内に秋田支部を開設した。
- ・七尾市で支部を設置できるよう、自治体や現地団体と調整を進めた。
- ・宮崎県都城市を支部設置の候補地として、自治体や民間企業にコンタクトを取り、設置の可能性を探っている。

総 評

秋田支部を設置できた。だが、前年からの候補地との調整が難航し前進させることができなかった。一方で、新たな候補地を確保することができた。

課 題

- ・支部設置に関わる財源の確保ができていない。
- ・支部の設置ができないことで、将来起こりうる規模の大きい災害に対応できない可能性がある。また、近くに支部がない地域が被災すると、支援開始までに時間がかかる可能性が高い。

【その他にあった取り組み】

(1) 災害対応

災害	無償貸出期間	件数	実施地域	受益対象者の範囲
令和6年1月 能登半島地震・豪雨 支援	1/15～翌年8/31	長期貸出 619件 短期貸出 4,317件 総数 4,936件	七尾市、輪島市、 珠洲市、能登町、 穴水町、志賀町、 能美市	実施地域周辺の 被災住民及び支 援団体、被災した 市町、および社 会福祉協議会
令和6年7月 秋田・山形大雨支援	秋田県由利本荘市 8/2～11/30	秋田県由利本荘市 長期貸出 4件 短期貸出 10件 総数 14件	由利本荘市、 酒田市、戸沢村	実施地域周辺の 被災住民及び支 援団体、社会福 祉協議会
	山形県酒田市 8/8～11/30	山形県酒田市 長期貸出 41件 短期貸出 102件 総数 143件		
	山形県戸沢村 8/10～11/30	山形県戸沢村 長期貸出 5件 短期貸出 31件 総数 36件		
令和6年9月 台風10号支援	宮崎県宮崎市 9/7～12/15	宮崎県宮崎市 長期貸出 4件 短期貸出 13件 総数 17件 愛知県蒲郡市 長期貸出 1件 総数 1件	宮崎市	実施地域周辺の 被災住民及び支 援団体
令和6年10月 宮崎大雨支援	宮崎県延岡市 11/9～2025/2/28	宮崎県延岡市 長期貸出 20件 短期貸出 5件 総数 25件	延岡市	実施地域周辺の 被災住民及び支 援団体

(2) その他

- ・ぼうさいこくたい 2024 にて車被災への備えに関するブースを出展(10/19-20)
- ・災害時に車の寄付いただいた業界団体や企業に対し御礼動画を作成し報告時に活用
- ・拠点を設置していない規模の災害でも常設拠点で支援を提供する発信を開始した(実績台風10号の1件)

委託	なし
助成金	社会福祉法人中央共同募金会／社会福祉法人宮崎共同募金会／公益財団法人日本財団 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム／Yahoo!基金／ブリヂストン BSmile 募金／ 大阪 NPO センター 能登半島地震応援金
寄付	Yahoo!ネット募金／for Good クラウドファンディング／サントリーホールディングス株式会社

【4】事務局

【目標1】 支援者との関係性の可視化と情報蓄積のためのフローの確立と実行

- ・達成指標1) 関係者情報収集の仕組みづくり(作業工程の整備と担当者の決定)
- ・達成指標2) 収集用ツール準備(kintone に名刺管理ソフト等との連携機能追加)
- ・達成指標3) 継続して観測する数値情報のグラフ作成機能追加(寄付平均額や支援回数上位者の表示)

評価

- ・達成指標1) 作業工程の整備と担当者の決定をし可視化した【達成率:70%】
- ・達成指標2) kintone と名刺管理ソフト等の連携を実施【達成率:85%】
- ・達成指標3) グラフ機能の試作を実施【達成率:0%】

実施内容

- ・関係者情報の入り口が多数あるため、まずは現状の整理を行った。次に、各入口から関係者名簿へ登録するフローを可視化し担当者を配置した。
- ・必要な情報を得ることのできる名刺アプリの選定やエラーチェックを行い、kintone に連携した。
- ・グラフ機能の試作以外は、着手することができなかった。

総評

今年度は現状の整理、および社内でのワークフローの整備まで進めることができた。特に名刺情報の収集については名刺管理システムの導入により、スタッフからの情報提供を促し収集を効率化できた。

課題

情報蓄積のためのフローは確立できたが、その情報を可視化し運用するところまでは到達できなかった。次年度では、まずは情報表示のフォーマットを作成し、それを定期的に確認できる仕組みづくり(グラフ類の自動出力等)を進めたい。

【目標2】 車両の安全基準づくり

- ・達成指標1) 事故・車両トラブルの情報蓄積と年2回の見直しの実施
- ・達成指標2) 活用寄付の受取り基準の見直し

評価

- ・達成指標1) 事故・車両トラブルを kintone で管理し、年に2回の見直しを実施した【達成率:100%】
- ・達成指標2) 災害時など要所要所で活用寄付の受取り基準の見直しを行った【達成率:100%】

実施内容

- ・事故対応のフォーマット作成や kintone への情報蓄積のフローを整備し分析を行った。
- ・平時及び災害時の活用寄付の受取基準の意見交換を各事業部と行い見直しを実施。また、車の保有状況や災害の特色に応じて随時募集条件見直す体制の構築を行った。

総評

安全基準をつくっていく基礎をつくることができた。次年度はより精度を上げていくために分析できる仕組化を目指していく。

課題

- ・車両台数が急激に増加したことによりユーザーの事故が多発した。事故状況の分析などを行い、事業にいかしていきたい。

【目標3】車の寄付(活用・リサイクル)の社内フローの確立と仕組化

- ・達成指標1) スキル一覧のアップデート
- ・達成指標2) 月に100台以上の問い合わせに対応できるツールとフォームのアップデート
- ・達成指標3) 受付に必要なマニュアルやツール等の作成と検証
- ・達成指標4) 達成目標1~3を運用し、災害時において持続可能な体制の素地を構築する
- ・達成指標5) 活用方法の報告を3施策行い、寄付者の反応を検証する
- ・達成指標6) 寄付車のストーリーを伝えやすくする環境整備と実施状況の把握を行う

評 価

- ・達成指標1) スキル一覧のアップデートと修正、運用を行った。【達成率:100%】
- ・達成指標2) 車の寄付を管理しているkintoneやHP、受付フォームのアップデート【達成率:100%】
- ・達成指標3) 受付に必要なマニュアルやツール等の作成と検証を行った【達成率:100%】
- ・達成指標4) 達成目標1~3を能登豪雨で運用し、災害時において持続可能な体制の素地を構築した【達成率:100%】
- ・達成指標5) 活用方法の報告を3施策行い、寄付者の反応を検証した【達成率:92%】
- ・達成指標6) 「車の寄付図鑑」の作成を行った。

実施内容

- ・スキル一覧の見直しを行い、実務に即したスキル一覧を作成し運用した。
- ・kintoneやHP、受付フォームのアップデートを行い、効率化と仕組化を進めた。それに伴い、1人が1ヶ月に対応できる件数を25件ほど増やすことができた。
- ・受付に必要なマニュアルやツール等を作成し、対応の標準化と質の向上を行った。また、災害時を想定し未経験でも車の寄付の受付や書類作成ができる環境になった。
- ・能登半島豪雨時にアップデートしたツールやマニュアルを運用し、1.5人体制で100台以上の車の寄付の受付を行った。
- ・メールや写真、動画、電話での報告を行い工数や車の寄付者さんの反応を検証した。

総 評

1月から車の寄付チームの所属先が事務局に変更になり、新体制でのスタートになった。直後に能登半島地震がおき、体制を整えながら約300台の車の寄付の受付に対応した。また、能登半島地震での学びをシステムやフォーム、マニュアルに落とし込み災害時に持続可能な体制の素地をつくるなど仕組化と効率化に向き合い続けたことにより、一定の成果をだすことができた。

課 題

- ・災害時に臨時で手伝える人の開拓
- ・活用寄付停止時のリサイクル寄付の提案

【その他にあった取組み】

- (1) 事務局運営
 - ・会計、総務、労務人事、法務の適切な実施
- (2) 車両管理
 - ・レンタカー車両の法定点検・車検の実施
 - ・その他車両・自動車保険の管理
 - ▷自動車保険 カーシェアフリート 70%→51% / レンタカーフリート 37%→53%

▷車両維持費 : 28,486,805 円 (前年度比 193%)

・学生整備プロジェクトの実施(石巻専修大学共同プロジェクト)

	実施日	学生数	参加車両台数
春の学生整備プロジェクト	4/20~22	17名	70台
秋の学生整備プロジェクト	11/20~22	16名	56台

協賛企業 日本ミシュランタイヤ(株)、横浜ゴム(株)、PIAA(株)、ルート産業(株)、三共油化工業(株)、パナソニックカーエレクトロニクス(株)、(株)ハンコックタイヤジャパン、中央精機(株)、中央精機東北(株)、(株)ウエッズ

委託	なし
助成金	TIS×日本NPOセンター×TechSoup 協働事業
補助金	なし

【受賞】 なし

正会員	6名	準会員	13名	賛助会員	26名
-----	----	-----	-----	------	-----

【5】広報・ファンドレイジング

【目標1】 広報・ファンドレイジングに注力し結果を出す組織を作る

- ・達成指標1) 広報・ファンドレイジング体制の構築
- ・達成指標2) 支部を含めた活動の発信の仕組みの構築
- ・達成指標3) 災害時の資金調達に関する新しいメニューを開発し、2,000万円を調達する
- ・達成指標4) 車の寄付を通じた新しいファンドレイジングのスキーム構築の検討

評価

- ・達成指標1) 発信、寄付者フォロー、デザイン作成など分担して業務を実施した【達成率100%】
- ・達成指標2) 全事業部の発信のルールとメールニュース配信のルールを設定し、実行した。HPの更新作業を2025年に実施する【達成率90%】
- ・達成指標3) 災害サポートレンタカーパートナー、yahoo ネット募金、廃車で被災地支援プロジェクトなど災害時の資金調達のメニューを設計した【達成率100%】
- ・達成指標4) 付加価値がある車両を廃車でなく市場流通させる寄付メニューを設計し、運用を開始した【達成率100%】

実施内容

- ・廃車で被災地支援プロジェクト、クラウドファンディング、災害サポートレンタカーパートナー、ふるさと納税など様々な機会に寄付金を募る取組みを実施した。
- ・広報に関する社内研修を実施し、定期的に魅力的な発信ができるような仕組みを社内に設けた。
- ・オンラインイベントを定期的に開催し、支援いただいている方や、協会の活動に関心のある方との接点づくりを実施した。
- ・活用・廃車ではない第3の車の寄付メニューを作成し、運用を開始した。

総 評

過去最大規模の災害対応となった能登半島支援を遂行するため、団体として過去最大の寄付金の調達を実施した。また、「廃車で被災地支援プロジェクト」を通じて廃車の募集を通じて寄付金を募る取組みで多くの賛同者を得られたことは「車の寄付」を中核において取り組んできた団体としては大きな前進であったように感じている。これまでにつながりのない多くの企業、団体、個人の方と繋がることができたことも収穫であった。

課 題

初めて接点を持った方が継続して応援したいと思ってもらえる支援者コミュニケーションの仕組み構築や、交流の場の創出。

以上